

## 2021年度（令和3年度）予算案の説明について

### 1. 予算案編成の前提条件

- 1) 公益法人化を目指す団体として、令和2年12月8日付けで、各専門部・専門委員会の部長、委員長宛てに、予算編成方針文書を発出させていただきました（[別紙1](#)参照）
- 2) 公益法人会計基準に則り、各専門部・専門委員会の業務領域を、事業費領域と管理費領域に区分し、**事業費領域**の予算として、全国大会開催に係る経費について約3千万円、選手強化に係る経費は約4千万円を、目安として予めお示しさせていただきました。
- 3) 各専門部・専門委員会が要求するにあたり、①なぜその業務を行う必要があるのか？②誰が誰に対して行う業務なのか？③どんな方法で④何を実施するのか？⑤いつ？⑥どこで業務を実施するのか？等来年度の業務実施計画を明らかにし、①～⑥の要素を整理した上で、⑦いくら必要なのか？を動画にて予め説明していました。[1129 作成 【動画】 令和3年度予算要求について - YouTube](#)（[別紙2](#)参照）

### 2. 予算要求を行った専門部・専門委員会及び事務局と調整を行った内容について

令和3年2月3日～4日にかけて調整を行った結果は[別紙3](#)のとおりです。

令和 2 年 1 2 月 8 日

各専門部・専門委員会

委員長、副委員長 様

一般社団法人 日本ボクシング連盟

専務理事 仲間達也

事務局長 豊田友彦

## 【事務連絡】2021 年度（令和 3 年度）予算編成の方針について

平素より日連の業務執行を担ってくださり厚く御礼申し上げます。

さて、公益法人化を目指す当連盟において、本年度より、持続可能な組織運営を目指す観点から、総務委員会及び強化委員会を除くすべての各部・専門委員会において、事務局に対して来年度の予算要求作業を行っていただく方向で考えております。

日連の歴史においておそらく初めての取組となりますので、以下の点にご留意いただき、ご不明な点等は適宜 LINE グループやお電話にて事務局にご連絡いただきながら、執行部と専門部・専門委員会との間で、対話を通じた協働による予算編成作業を行いたいと存じます。

### 記

#### 1. 来年度歳出予算で各部・専門委員会の業務領域に係る予算額の総枠

- ・ 全国大会開催に係る経費について・・・約 3 千万円（うち全日本選手権は 1 千 5 百万円）
- ・ 選手強化に係る経費について・・・・・・約 4 千万円

※東京五輪開催という特別な事情を勘案し 500 万円の別枠を検討中

#### 2. 予算要求の方法及び予算編成に係るタイムスケジュールについて

- ・ **別添の動画ファイル**をご参照ください。

#### 3. 総務委員会及び強化委員会の委員長、副委員長へのお願い

来年度の予算総額の枠配分調整（シーリングといいます）は、当連盟の資金管理上の関係から、総枠を上述 1.のとおり設定させていただいています。

今年中を目途に、来年度の事業計画または行事予定を LINE グループ上で他の専門部・委員会にお示しいただき、来年度の行事に紐付けた他の委員会の予算要求資料とさせていただくことを執行部としては考えております。ご協力をよろしくお願いいたします。

#### 4. 各委員会同士及び事務局との情報連携について

業務執行の性質が類似・関連する委員会においては、相互に連携し、場合によっては zoom 等を活用した対話の機会を設定し、来年度の事業計画ならびに予算要求作業を行っていただきたいと存じます。

ご不明な点等は積極的に LINE グループ等で疑問点等をご提示いただき情報共有に努めていただければと存じます。

2020.1127 作成 説明用動画

※PowerPointソフトのアニメーション機能を用いて  
説明しますので画面への注視をよろしくお願いいたします。

# 令和3年度 予算要求について

(公益法人としての予算編成→予算(業務)執行→決算を目指して)

## 本動画資料の作成意図は2点

- ① 多くの関係者が会議で集まるための時間と労力を節約する意図(オンデマンド)
- ② 公益法人を目指す経営体として、所定の手続きで予算編成をする必要があるということを知ってもらう意図

## 【本題】 説明内容は3部構成

- ① 予算要求を行う主体についての説明
- ② 予算要求の方法についての説明
- ③ 要求スケジュールについての説明

## ① 予算要求を行う主体について

※ 全ての専門部・専門委員会から事務局に要求書を提出してもらう必要があります。

【事業部門】＝公益目的事業を担う

【管理部門】＝ガバナンス強化を担う

全国大会(競技会)運営事業

01. 総務委員会

02. 審判部

03. 医事委員会

選手強化事業

04. 強化委員会

05. SS委員会(NTサポート部門)

06. オリンピック推進委員会

加盟団体への支援・情報提供

プロ競技団体との交流・連携

人材育成、教育・啓発業務

07. ブロック協議委員会

08. プロアマ交流委員会

05. SS委員会(調査研究教育啓発)

04. (仮)強化委員会(インテグリティ)

09. アンチ・ドーピング委員会

10. 指導者育成委員会

法務

11. 公益化推進委員会

12. 倫理委員会

マーケティング

13. 普及委員会

14. 広報戦略委員会

## ② 予算要求の方法について

※前提として5W2Hで来年度の委員会毎の事業計画をなるべく具体的に描く必要があります。

### ① What?

業務を実施する目的は何か？

### ③ Who(Whom)?

委員会内の誰が個別具体的な業務の担当者となり、誰をターゲットとするのか？

### ⑤ When?

来年度のいつ業務を実施するのか？

### ② Why?

なぜその業務を行う必要があるのか？

### ④ How?

どんな手段・方法で業務の目的・成果を見込むのか？

### ⑥ Where?

来年度のどこで業務を実施するのか？

## How Much?

①～⑥の要素をふまえ、業務を実施するのにいくら必要なのか？

※抽象的なので次頁で具体例を説明します

## ② 予算要求の方法(具体例)

※ 5W2Hを用いた具体的な事業計画作成方法例

### ① What?

業務を実施する目的は何か？

04. 強化委員会

高地トレーニングで代表選手の持久力の強化を図る目的

05. SS委員会(NTサポート部門)

高地トレーニングでフィジカル&メディカルサポートをできるスタッフを同行させる目的

01. 総務委員会

墨田区で全日本選手権開催を固定させる目的

09. アンチ・ドーピング委員会

墨田区での全日本のテクニカルミーティングの時間を活用しAD講習を実施する目的

13. 普及委員会

墨田区全日本時に初のマスボクシング大会を実施する目的

14. 広報戦略委員会

墨田区でのマスボクシング大会をYouTubeライブ配信し赤井さんとしずちゃんの対決を実現させる目的

## ② 予算要求の方法 (具体例)

※ 5W2Hを用いた具体的な事業計画作成方法例

### ② Why?

なぜその事業・業務を行う必要があるのか？

#### 04. 強化委員会

高地トレーニングで日本選手の弱点である持久力の強化を図ることで、メダルポテンシャルアスリートを1人でも多く育成する必要がある

#### 05. SS委員会 (NTサポート部門)

高地トレーニングにメディカルサポートスタッフ同行により酸素血中濃度のデータを集積する必要がある

#### 01. 総務委員会

アスリート委員会の要望に加え、墨田区役所のオリンピックレガシー構築事業とコラボすることで、墨田区で全日本選手権開催を固定させるメリットがある。また国体プレ開催としての実施が隔年開催により難しくなっている事情が有る

#### 09. アンチ・ドーピング委員会

指導者が一堂に会するテクニカルミーティングの時間を活用しAD講習を実施することで教育効果が高まると考えられる

#### 13. 普及委員会

全日本時のマスポクシング大会は注目度が最も高い

#### 14. 広報戦略委員会

YouTubeライブ配信で赤井さんとしずちゃんの対決させることでメディア露出度を高めスポンサー獲得を狙う必要がある

## ② 予算要求の方法 (具体例)

※ 5W2Hを用いた具体的な事業計画作成方法例

### How Much?

### ①～⑥を業務を実施するのにいくら必要なのか？

- ・ 指導者育成委員会が指導者を参集しzoomでハラスメント講話のプロを講師として依頼＝ 謝金
- ・ 広報戦略委員会がYouTubeライブ配信をするための機材借り上げ＝ 借料及び損料
- ・ スポーツ科学委員会が帯同する国内強化合宿で栄養指導を行う＝ 栄養管理費

## ③ 要求スケジュールについて

12月

1月

2月

3月

- 専門部・専門委員会内で予算要求の前提となる来年度事業計画策定の協議を実施
- 専門部・専門委員会内での協議の結果、合意を得た来年度事業計画に基づき 予算額を見積もる作業
- 専門部・専門委員会で見積もった 予算額を年内を目途に事務局に提出
- 専門部・専門委員会と事務局との間で 1月中に予算調整を実施
- 専務理事調整を行い 来年度予算案を作成
- 2月中に予定している 理事会総会で予算案の審議及び決議を諮る

別紙 3

要求してきた委員会との調整状況整理表

令和3年度 執行部（事務局長）予算査定方針		
	パターン①	全国大会開催経費は予算3,000万円枠の中で調整すること
		強化事業経費は予算4,000万円枠の中で調整すること
	パターン②	財源（＝歳入予算）に助成金を充当できる場合はまずそれを検討すること
	パターン③	財源（＝歳入予算）に協賛金を充当できる場合はまずそれを検討すること
	パターン④	コロナ禍での会議費はオンラインで代替すること

予算要求部門				事務局長査定結果
	担当者	要求事項	要求事項の概要	
審判部	林田副部長（理事）	1.審判講習会の実施	全国大会開催直後の反省会が効果的なので後泊代金を要求	パターン① 全国大会開催経費予算3,000万円枠の中で総務委員会等と来年度要調整
		2.国際審判員の派遣費	強化事業の枠組みの中で、国際大会の際に実施される国際審判員試験受験のために派遣チームに受験者が同行する経費を要求	パターン② JOC強化事業助成の枠組みの中の【国際審判員養成プログラム？】でJOCに要望する予定（派遣人数等今後事務局と審判部との間で要調整）
		3.審判員のワッペンとブレザーの製作 一部補助	統一することで審判員全体の士気を高める意図？	意義と積算根拠、費用対効果が不明
アンチ・ドーピング委員会	門田委員長	1.ドーピング検査事業	国体と全日本時の講習 & NF-Rep	パターン② JSCくじ助成対象事業（助成率9/10）なので、1/10のみ（補助ウラ）が自己財源
		2.ドーピング防止啓発活動推進事業		
		3.アンチ・ドーピング委員会会議		パターン④ コロナ禍でのオンライン会議主流なので今年度は不可
広報戦略委員会	岩崎委員長	1.カメラ購入代金		パターン① 全国大会開催経費予算3,000万円枠の中で総務委員会等と来年度要調整
		2.オンライン配信委託料		パターン③ 財源に協賛金を充当できるように努めること
		3.事業委託費	セリ氏業務委託料	
指導者育成委員会	細野委員長	1.A級セカンド講習会	全日本時を想定した資格更新のための講習会	パターン① 全国大会開催経費予算3,000万円枠の中で総務委員会等と来年度要調整
		2.コーチ3講習会	国体帯同者必須資格	パターン② 15人以上の受講者を集めることで、JSP〇指導者育成部管轄の助成事業の対象になるのではないかな？
		3.指導者育成プログラム	ジュニア強化合宿時に帯同指導者に実施する教育プログラム	パターン① 強化事業予算4,000万円枠の中で強化委員会等と来年度要調整
		4.JSPO講習会	JSPO指導者育成部の指導者育成プログラムを活用した教育・啓発事業	今後JSPO指導者育成部と要調整
		5.委員会開催費		パターン④ コロナ禍でのオンライン会議主流なので今年度は不可
普及委員会	三橋委員長 （菊池理事兼委員）	マสบクシングを普及する何らかのイベント		大会そのものは全国大会開催経費予算3,000万円枠の中で総務委員会等と来年度要調整 別枠として20万円は確保